アド・ミュージアム東京から

企画展のご報告

TCC広告賞展2016
（平成28年8月4日〜9月24日）

今年いちばん愛された広告コピーとは？　コピーの最高峰を選ぶ「TCC広告賞展2016」が盛況のうちに終了しました。

2016年度のTCCグランプリに選ばれたのは、KDDI／au「三太郎」シリーズのTVCMから「みんながみんな英雄。」（篠原誠氏、野崎賢一氏、佐藤舞葉氏／電通）。また、最高新人賞は長崎自動車「長崎バス」シリーズのTVCM「名もなき一日を走る。長崎バス」などで渡邊千佳氏（電通九州）が受賞しました。

会期中は作品展示のほか、コピーやコピーライターの仕事についてもっと知っていただくための各種イベントを実施し、好評を得ました。

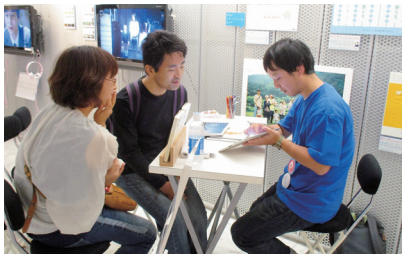
●TCCイベント企画

「コピーライター行動展示」

コピーライターと来館者をつなぐ毎年恒例の企画です。最高新人賞の渡邊千佳氏をはじめ、受賞したコピーライター24人が日替わりで会場に登場。来館者とのインタラクティブなやり取りを通じて、受賞作品にまつわるエピソードやコピーライターの裏話などを披露しました。コピーライターが日々どのように仕事に取り組んでいるのか、来館者に触れていただく機会となりました。

「コピーライターの本棚」

展示会場の一角に本棚が出現。今年度の審査委員長・福里真一氏や受賞者が日頃読んでいる本、お薦めする本をメッセージとともに紹介しました。また今回は、過去4回行ったこの企画の総集編としてコピーライター16人の愛読書を一挙に公開しました。



トークイベント「TCCことばみらい会議」

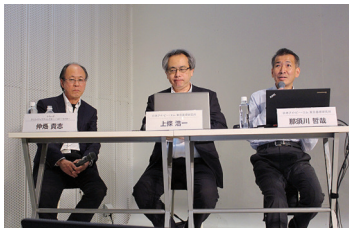
TCCのコピーライターたちが異業種の言葉のプロたちと対話するセミナーを9月23日・24日の2日間にわたり開催。時代と呼吸する言葉とは？　未来へ進化する言葉とは？

IBM Watsonとその研究者、芸人の五明拓弥氏・遠山大輔氏（グランジ）、ラッパーの晋平太氏、そして実業家の堀江貴文氏が、コピーライターとともに「言葉」の可能性と未来について語りました。

第1夜　9月23日（金）

第1部「人間のことば―コピーライター×コンピューター―」

コピーライターと人工知能研究者による異色の対談。人は、コンピューターや言葉とどう向き合っていくべきなのか。人の言語を理解するWatsonが仲畑氏の性格をコピーから分析するなど、言葉の未来を垣間見ることができました。


左から仲畑氏・上條氏・那須川氏

パネリスト
仲畑 貴志氏
（ナカハタ）
上條 浩一氏
（日本アイ・ビー・エム）
那須川 哲哉氏
（日本アイ・ビー・エム）
Watson

第2部「おもしろいことば―コピーライター×芸人―」

コピーライターとしても活躍するグランジ・五明拓弥氏と遠山大輔氏をゲストに迎え、芸人とコピーライターの発想法に迫るセッション。パネリストの福里氏を巻き込んだ漫才トークの応酬に、会場は大いに盛り上がりました。

左から福里氏・五明氏・遠山氏

パネリスト
福里 真一氏（ワンスカイ）
※2016年度TCC賞 審査委員長
グランジ　五明 拓弥氏
（よしもとクリエイティブ・エージェンシー）
グランジ　遠山 大輔氏
（よしもとクリエイティブ・エージェンシー）

第2夜　9月24日（土）

第3部「いまと関係することば―コピーライター×ラッパー―」

コピーライターとラッパーの対決。「コピーライターを褒めるラップ」と「ラッパーを褒めるコピー」をそれぞれ披露し、会場から大きな拍手が湧き起こりました。言葉を扱うプロの技が存分に発揮されたライブとなりました。

左から渡邊氏・晋平太氏

パネリスト
渡邊 千佳氏（電通九州）
※2016年度TCC賞 / 最高新人賞
晋平太氏（ラッパー）

第4部「みんなのものになることば―コピーライター×実業家―」

堀江氏の大ファンだという篠原氏との対談。堀江氏は「イノベーションを起こすのは、テクノロジーと言葉だ」とし、言葉の持つ機能と力を鋭く指摘しました。

左から堀江氏・篠原氏

パネリスト
篠原 誠氏（電通）
※2016年度TCC グランプリ
堀江 貴文氏
（SNS media＆consulting）

企画展のご報告　第69回広告電通賞展
（平成28年11月1日～26日）

「広告電通賞」の受賞作品を紹介する「第69回広告電通賞展」を開催しました。

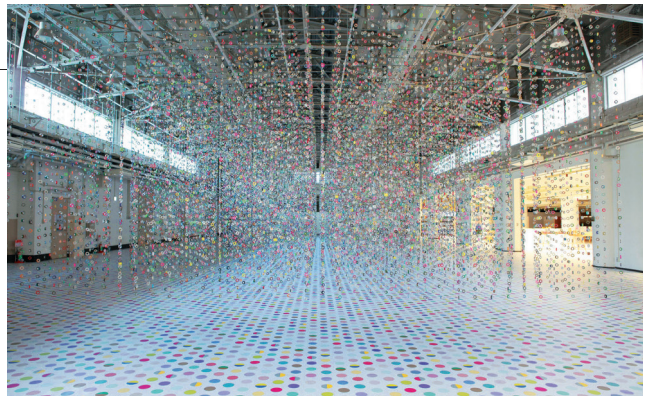
広告電通賞は、昭和22（1947）年の創設以来、広告活動の進歩・向上に寄与するため、毎年1回、その年度において公開された広告作品に関して優秀な広告活動を行った広告主を表彰しています。2016年度は、広告活動において特に優秀な成果を挙げた企業として大塚製薬が初の「総合広告電通賞」に選ばれました。「ポカリスエット」「カロリーメイト」の広告が、「テレビ広告」「OOHメディア広告」で合わせて3つの賞を受賞。

本展では、8種目28部門64点の全受賞作品を紹介しました。

開催中の企画展

D&AD Awards 2016展
（平成28年12月1日～平成29年1月14日）

イギリス・ロンドン発の国際的なデザイン・広告賞「D&AD Award」の最新受賞作品を紹介する展覧会を開催します。D&AD Awardは、審査の厳しさから世界で最も受賞が困難なデザイン・広告賞と評されています。今年は、デザインの圧倒的な基礎力を誇る作品が多く入賞。本展では、最高賞ブラック・ペンシルをはじめ、上位賞と日本の受賞作品を中心に紹介します。



ブラック・ペンシル（最高賞）／タイトル：mt expo 2015／クライアント：カモ井加工紙

広告図書館から
来館者アンケートを実施しました

広告図書館では利用者の多様なニーズを把握するため、8～9月に来館者アンケートを実施しました。アンケートにご協力くださった方々に厚くお礼申し上げます。結果の詳細は誌面の都合もあり省略しますが、今回皆様から寄せられたご意見ご感想の一部を紹介したいと思います。

なお、利用に際してお気づきの点や資料・設備へのリクエストは常時受け付けています。図書館スタッフにお伝えいただくか、アド・ミュージアム東京に設置しているアンケート用紙にてお寄せください。今後の図書館運営の参考とさせていただきます。

「図書館サービス」について
- 蔵書検索の結果をプリントアウトできるようにしてほしい
- テーマごとにお薦めの本を紹介するコーナーが設置されていると、本に手を伸ばしやすい
- 来館前に調べている内容を連絡すると、該当する資料を揃えておいてもらえるサービスがほしい
- スタッフの調査補助が役に立った

「蔵書」について
- 洋雑誌の古いバックナンバーも館内に置いてほしい
- 海外の文献を充実させてほしい
- 個人購入が難しい資料が置いてあるのはありがたい
- 本屋では見かけない書籍や専門書が見られてよい
- 雑誌のバックナンバーが充実している

「運営／設備」について
- 日曜祝日の開館と開館時間の延長を希望します
- 来館者用のWiFiと電源コンセントを設置してほしい
- 視聴覚資料やデジタルアーカイブ（AdDAS）の視聴ブースを増やしてほしい
- 飲み物の持ち込みをOKにしてほしい

お寄せいただいた元の内容や趣旨を変えない範囲で、一部文言を編集の上、掲載しています

「アド・ミュージアム東京」開館スケジュールのお知らせ

- 2016年12月29日（木）～2017年1月4日（水）は年末年始のため、全館休館いたします。
- 2017年1月15日(日)～18日（水）および2月26日（日）～3月1日（水）は館内展示入れ替えのため、全館休館いたします。

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

は休館日

全館リニューアルのお知らせ

アド・ミュージアム東京は、来年開館15周年を迎えるにあたり、全館リニューアルを実施します。2017年3月26日（日）から一時休館し、リニューアルオープンは2017年12月初旬を予定しています。

なお、広告図書館は2017年2月26日（日）より一時休館します。